

秋田市教育委員会  
令和7年10月定例会  
(当日配布資料)

【資料目次】

教育長等の報告

- |                               |     |
|-------------------------------|-----|
| (2) 学びの多様化学校設置検討委員会の開催状況等について | … 1 |
| (3) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について  | …20 |



## 学びの多様化学校設置検討委員会の開催状況等について

令和7年10月8日(水)に開催した第1回秋田市学びの多様化学校設置検討委員会では、教育委員会事務局から、学校概要や特色ある教育活動、視察報告等について説明を行った。

また、委員からは、ニーズ調査の内容や設置場所等について助言があった。

### 1 学びの多様化学校について(事務局からの説明)

#### (1) 設置について

- ・本市における不登校児童生徒の状況およびその支援
- ・学びの多様化学校の全国の設置状況

#### (2) 特別な教育課程、特色ある教育活動について

- ・スクールビジョン「自分らしく学ぶ」
- ・スクールビジョンを達成するための3つのポイント
- ・学び直しの時間や、新設の教科の概要

#### (3) 学校について

- ・学校規模、職員構成、校舎等

#### (4) 視察報告(上山市立西郷小・中学校、八王子市立高尾山学園)について

- ・廃校舎の利活用の状況や、特色ある教育活動の実際
- ・教育支援センターとの連携や、入学の要件

### 2 開校に向けた検討事項について(委員からの主な意見)

#### (1) 特別な教育課程、特色ある教育活動について

- ・新設の教科の内容については、秋田らしさにあふれる選択肢の他にも、自動車やプログラミングに関する事など、子どもが興味を持ちそうな題材についても取り入れてほしい。
- ・一人ひとりの進路実現に向けて、学習支援の充実が図られるようにしてほしい。
- ・ポジティブで、良いイメージが持てる校名にしてほしい。
- ・学びの多様化学校においても、集団で学ぶ場として、一定のルールは必要だと思う。
- ・スクールカウンセラーの配置時数を増やしたり、支援にあたる教員の増員を県に働きかけたりするなど、一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図ってほしい。

#### (2) ニーズ調査について

- ・調査を実施するにあたり、「学びの多様化学校」のイメージが持てる資料があると良い。
- ・子どもを対象とした調査票に、「今、不安に思っていること」を入れてほしい。

#### (3) 設置場所について

- ・交通の便や立地の条件等を考慮すると、下北手小学校が良いと思う。

## 第1回秋田市学びの多様化学校設置検討委員会

日時：令和7年10月8日（水）

午後6時から

会場：秋田市役所 5-A会議室

### 次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員および教育委員会事務局職員紹介
- 5 委員長選出
- 6 委員長あいさつ
- 7 議題
  - (1) 学びの多様化学校について（説明）
    - ①設置について
    - ②学校について
    - ③特別な教育課程、特色ある教育活動
    - ④視察報告（上山市立西郷小・中学校、八王子市立高尾山学園）
  - (2) 開校に向けた検討事項について（協議）
    - ①特別な教育課程、特色ある教育活動
    - ②ニーズ調査
    - ③設置場所
    - ④その他
- 8 その他
- 9 閉会

### 第2回秋田市学びの多様化学校設置検討委員会

開催期日 令和8年1月

- 協議内容
- 1 ニーズ調査の結果について
  - 2 教育課程について
  - 3 入学の要件等について

## 秋田市学びの多様化学校設置検討委員会 委員名簿

### ○委 員

氏 名	役 職 名
嶋 崎 公 人	秋田公立美術大学美術教育センター特任教授
北 島 正 人	秋田大学教育文化学部教授
渡 部 泰 弘	秋田県立医療療育センター小児科医師
大 嶋 隆 夫	秋田県教育庁義務教育課指導チームリーダー
木 谷 光 男	秋田市小学校長会会長
大 山 裕	秋田市中学校長会会長
根 田 達 也	秋田市PTA連合会会長
濱 田 拓	臨床心理士、すくうる・みらい専門相談員

(敬称略)

### ○事務局（秋田市教育委員会内）

氏 名	役 職 名
佐 藤 孝 哉	教育長
小 林 丞	教育次長
鈴 木 公 平	教育次長
佐 藤 洋 平	総務課長
中 安 浩 二	学事課長
畠 山 勇 人	学校教育課長
山 尾 壮 一	学校教育課教職員室長
武 石 林 太 郎	学校教育課長補佐
花 田 守	学校教育課副参事（指導主事）
横 山 靖 子	学校教育課副参事（指導主事）
長谷川 拓 郎	学校教育課副参事（指導主事）
伊 藤 智 泰	学校教育課副参事（指導主事）

## 秋田市学びの多様化学校設置検討委員会設置要綱

（令和7年9月5日  
教育長決裁）

（設置）

第1条 小・中学校に在籍する不登校児童生徒の学びの場を確保するための学びの多様化学校（不登校児童生徒を対象とする特別の教育課程を編成して教育を実施する学校をいう。以下同じ。）の設置について検討するため、秋田市学びの多様化学校設置検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 検討委員会は、次に掲げる事項について協議および提言を行う。

- (1) 学びの多様化学校の設置に関すること。
- (2) 学びの多様化学校に係るニーズ調査に関すること。
- (3) 学びの多様化学校における特別の教育課程に関すること。
- (4) 学びの多様化学校における特色ある教育活動に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、学びの多様化学校に関し必要な事項

（組織）

第3条 検討委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、秋田市教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 医師
- (3) 関係行政機関
- (4) 関係教育機関
- (5) その他教育関係者

（任期）

第4条 委員の任期は、前条第2項の規定による委嘱の日からその日の属する年度の末日までとする。

（委員長および副委員長）

第5条 検討委員会に、委員長および副委員長を置く。

2 委員長および副委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、検討委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 検討委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(庶務)

第7条 検討委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 附 則

(施行期日等)

1 この要綱は、令和7年9月5日から施行する。

2 この要綱は、令和8年3月31日限り、その効力を失う。

(検討委員会の招集)

3 この要綱の施行後最初に開催される検討委員会の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が行う。

## 学びの多様化学校の設置について

### 1 設置の理由

本市における不登校児童生徒は年々増加しており、令和5年度の不登校児童生徒の出現率は、小・中学校ともに国や県の平均を上回っている。

本市では、これまで、教育支援センター「すくうる・みらい」の運営や家庭でのICT等を活用した学習支援、引きこもりがちな子どもの話し相手となる「フレッシュフレンド」の派遣など、不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援に努めてきた。

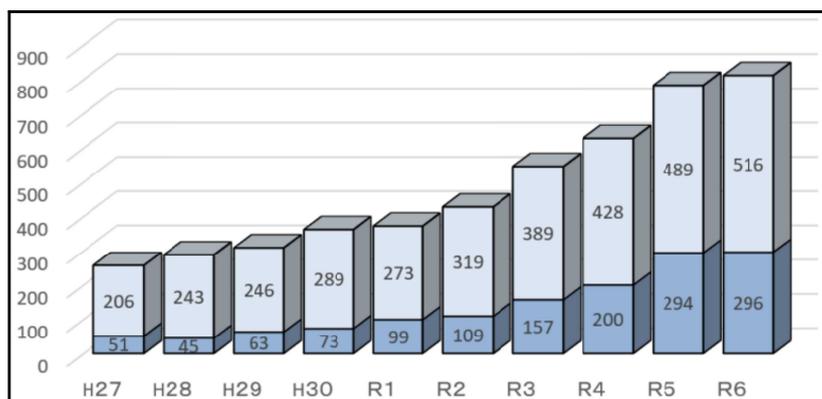
学びの多様化学校は、これまでの支援に加え、柔軟な教育課程を編成し、子ども一人ひとりが自らのペースや心身の状況に応じて学ぶことができる新たな学校であり、子どもたちの多様な学びの場の選択肢として設置は急務であるとの考えのもと、令和9年4月に開校することとした。

### 2 本市における不登校児童生徒の状況

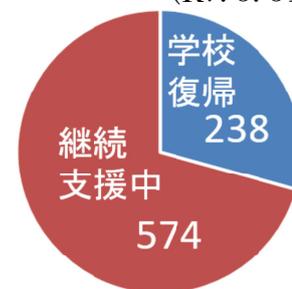
＜本市不登校児童生徒数の推移＞

(人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	109	157	200	294	296
中学校	319	389	428	489	516
計	428	546	628	783	812



令和6年度  
不登校児童生徒812人の状況  
(R7.3.31)



＜不登校児童生徒の出現率＞

小学校

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市	0.81%	1.18%	1.53%	2.31%	2.38%
県	0.69%	0.94%	1.26%	1.75%	-
国	1.00%	1.30%	1.70%	2.14%	-

中学校

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市	4.72%	5.75%	6.38%	7.45%	7.99%
県	3.52%	4.42%	5.05%	6.24%	-
国	4.09%	5.00%	5.98%	6.71%	-

### 3 本市における不登校児童生徒支援の状況

< 校内外の関係機関等との連携が図られていない児童生徒 > (人)

	不登校 児童生徒数	連携が図られて いない児童生徒数	うち、教師との 関わりがある
R 6	小学校 296	169	136
	中学校 516	298	242
	合 計 812	467	378
R 5	小学校 294	143	121
	中学校 489	280	236
	合 計 783	423	357
R 4	小学校 200	56	—
	中学校 428	226	—
	合 計 628	282	—

【児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（国調査）】

< 「すくうる・みらい」入級状況 >

	在籍児童生徒数（人）			不登校児童生徒数 に占める割合（%）
	小学生	中学生	合計	
R 6	21	46	67	8.3
R 5	24	39	63	8.0
R 4	17	35	52	8.3

【「すくうる・みらい」からの報告（R 7. 3. 31現在）】

\* R 7. 9. 16 現在、小学生 8 人、中学生 27 人、計 35 人が入級している

< 「フレッシュフレンド」活用状況 >

	対象児童生徒（人）			派遣回数（回）
	小学生	中学生	合計	
R 6	8	6	14	168
R 5	10	9	19	187
R 4	11	12	23	143

【フレッシュフレンド実績報告（R 7. 3. 31現在）】

\* R 7. 9. 16 現在、小学生 5 人、中学生 2 人、計 7 人が活用している  
(派遣回数 46 回)

#### 4 全国の設置状況

国は、第4期教育振興基本計画（R5.6月）において、令和9年度までに全都道府県・政令指定都市に1校以上、将来的に全国で300校の設置を目指すことを示している。

##### <全国の設置状況>

R7	58校（小8校、中34校、小中5校、高11校）うち公立37校、私立21校
R6	35校（小5校、中22校、小中2校、高6校）うち公立21校、私立14校
R5	24校（小3校、中16校、小中2校、高3校）うち公立21校、私立3校

##### \*東北は6校設置

- ・宮城県富谷市（富谷市立富谷中学校西成田教室）R4～
- ・宮城県白石市（白石市立白石南小・中学校）R5～
- ・宮城県仙台市（ろりぼっぷ学園小学校）R5～
- ・山形県上山市（上山市立西郷小・中学校）R7～
- ・福島県棚倉町（棚倉町立棚倉中学校）R7～
- ・秋田県大仙市（秋田修英高等学校全日制課程ステップアップコース）R7～

【文部科学省「学びの多様化学校の設置者一覧」より】

##### <先行都市の在籍児童生徒数>

宮城県富谷市立富谷中学校西成田教室	分教室型	中12人
宮城県白石市立白石南小・中学校	学校型	小10人、中28人
山形県上山市立西郷小・中学校	学校型	小3人、中8人
福島県棚倉町立棚倉中学校	分教室型	中6人
東京都八王子市立高尾山学園	学校型	小16人、中91人

（令和7年9月11日現在）

## 学びの多様化学校について

### 1 スクールビジョン

自分らしく学ぶ

<実現するための3つのポイント>

- ・一人ひとりが安心できる居心地のよい学校
- ・人とのふれあいや様々な経験が、笑顔や自信、希望につながる学校
- ・自分のペースで学びを進め、達成感を味わうことができる学校

### 2 学校規模について

- ・小・中併設校（小学校3学級、中学校3学級、計6学級）
- ・小学校は複式学級（2・3年、4・5年、6年）
  - \*異学年交流による社会性の形成をねらいとする。
  - \*小1は不登校と断定せず、在籍校での適応支援を優先する。
- ・全児童生徒数60人程度
  - \*個に寄り添った支援を可能にするため、各学級10人程度を想定している。
- ・区域外就学制度の活用、市外からの児童生徒の受入れ

### 3 職員の構成について

- ・県費負担教職員16人  
校長1、教頭2、養護教諭1、中学校教員8、小学校教員3、事務職員1
- ・市会計年度任用職員12人  
多様な学びのコーディネーター1（\*）、校務員2、学校司書1、給食支援員1、学級生活支援サポーター4、配膳パート2、スクールカウンセラー1

（\*）多様な学びのコーディネーターについて

転入学希望の児童生徒や保護者と面談を行い、最適な支援計画を検討するとともに、「すくうる・みらい」「在籍校」「学びの多様化学校」「秋田市教育委員会」と連携しながら、今後のスケジュールを調整する。

### 4 校舎について

- ・普通教室6
- ・特別教室7（理科室、音楽室、美術室、家庭科室、技術室、図書室、相談室）
- ・その他10（職員室、校長室、保健室、放送室、校務員室、多目的ホール3、体育館、グラウンド） \*プールは民間施設を利用



# IV. 学校紹介

## 白石市立白石南小学校・白石南中学校 白石きぼう学園（宮城県）

### 学校概要

- 管理機関：白石市教育委員会
- 所在地：宮城県白石市越河平字平合23番地1
- 開校時期：令和5年4月
- H P：<https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/shiroishikibou2023>

昇降口の校名表示は、希望を感じる明るいものを設置。



### 対象児童生徒

- 白石市在住の小学校第1学年から中学校第3学年までの児童生徒
- 病気や経済的理由を除く年間30日以上欠席又は保健室や相談室、教育支援センターに通っており、現在もその状態が続いている者
- 入学前から在籍校を通じて児童生徒理解・支援シート等により情報が共有されている者
- 本人に登校意欲があり、保護者の理解がある者

木のパーティションは取り外し可能で、大きなホール等にもできる。

### 在籍児童生徒数 ※令和5年4月1日時点

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学生	0人	0人	0人	0人	2人	0人	2人
中学生	5人	5人	7人				17人



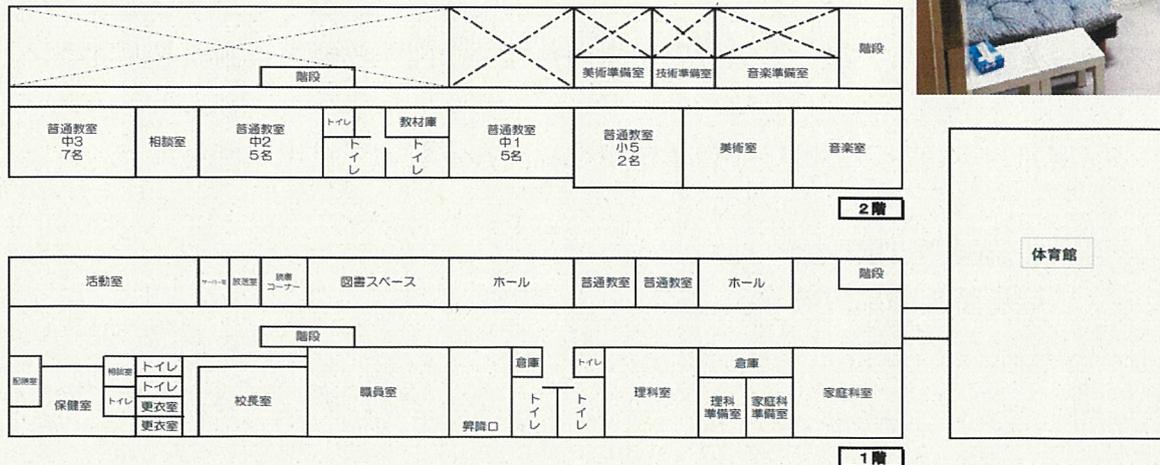
保健室横にある個別スペース



### 教職員配置状況

	職名	学年	教科		職名	学年	教科
1	校長			11	教諭	中3	国
2	教頭(小)			12	講師	中3	保
3	教頭(中)			13	養護教諭		
4	教諭	小5	全	14	主事		
5	教諭		社	15	支援員		
6	教諭		数・技	16	支援員		
7	講師	中1	理	17	支援員		
8	講師	中1	音・家	18	業務員		
9	教諭	中2	英	19	SC		
10	講師	中2	英・美				

### 教室配置図



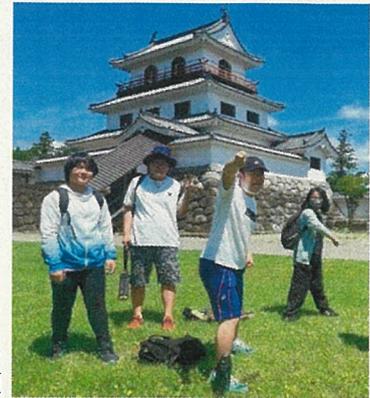
## 校時表

	小学校	中学校
朝	9:20 ~ 9:30	9:20 ~ 9:30
1時間目	9:30 ~ 10:15	9:30 ~ 10:20
2時間目	10:25 ~ 11:10	10:25 ~ 11:15
3時間目	11:30 ~ 12:15	11:20 ~ 12:10
昼食・昼休み	12:15 ~ 13:00	12:10 ~ 13:00
4時間目	13:00 ~ 13:45	13:00 ~ 13:50
5時間目	13:55 ~ 14:40	13:55 ~ 14:45
下校	14:40 ~ 14:50	14:45 ~ 14:50

備考

- ※登校はスクールバス、下校は市民バス(無料)を活用
- ※保護者送迎も可
- ※昼食は給食か弁当を選択
- ※全校児童生徒・教職員による月2回の昼食づくり
- ※部活動は設定していないが、活動希望生徒がいる場合は、近隣の中学校に協力依頼

児童生徒が企画した  
市内自主研修



## 特別な教育課程の概要

- 総授業時数は、小2は約4%、小3は約11%、小4~中3を約14%削減している。
- 新設の教科「白石タイム」を小2は週3時間、小3以上で週4時間設定。一人一人の状況に合わせた学び直しの時間として、未学習や苦手内容に対応。
- 「夢スタジオ」の時間(総合的な学習の時間内に位置づけ)を週3時間設定し、得意なことや興味・関心に基づき自分のテーマに基づく探究的な学習を行う。また、体験活動の機会を充実させ、体験不足からなる自信欠如の回復やコミュニケーション能力の醸成、子どもたちの思いを取り入れた行事(校外学習・食を通じた交流)、子どもたちの企画立案によるイベントを開催。

## 教育課程表 ※灰文字は標準授業時数

区分	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3		
各教科	国	306	306	245	315	185	245	175	245	105	175	105	175	70	140	70	140	70	105
	社	-	-	-	-	35	70	45	90	55	100	60	105	60	105	70	105	95	140
	算・数	136	136	105	175	110	175	105	175	105	175	105	175	70	140	70	105	70	140
	生・理	102	102	105	105	55	90	60	105	60	105	60	105	60	105	105	140	105	140
	音	68	68	70	70	30	60	30	60	30	50	30	50	30	45	20	35	20	35
	図・美	68	68	70	70	30	60	30	60	30	50	30	50	30	45	20	35	20	35
	体・保	102	102	105	105	95	105	95	105	80	90	80	90	75	105	75	105	80	105
	家・技	-	-	-	-	-	-	-	-	40	60	35	55	60	70	60	70	30	35
	外・英	-	-	-	-	-	-	-	-	55	70	55	70	105	140	70	140	70	140
	外活	-	-	-	-	20	35	20	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
道徳	34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
総合	-	-	-	-	105	70	105	70	105	70	105	70	105	50	105	70	105	70	
特活	34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
【新】白石タイム	0	-	105	-	140	-	140	-	140	-	140	-	140	-	140	-	140	-	
合計	850	850	875	910	875	980	875	1015	875	1015	875	1015	875	1015	875	1015	875	1015	

## 不登校児童生徒等の実態に配慮した工夫

- 通いやすい登下校時刻を設定。
- 1人1台端末のAIDリル等を活用した学習機会の保障。
- 地域人材を活用した学校行事や「夢スタジオ」等で他者との関わり・コミュニケーション能力の醸成。
- 規則正しい生活習慣のため、保護者と連携した家庭での過ごし方講座の開催。(スクールカウンセラー等の活用)
- ゲーム・スマホ依存症防止のために、子ども同士でルールを話し合う場や親子研修会、専門機関からの外部講師を依頼した授業設定。
- 養護教諭による定期的な保健指導による、心と体づくり、感情のコントロールを目指す時間を確保して実施。

月2回の昼食クッキングタイム



# 八王子市立高尾山学園（東京都）

## 学校概要

- 管理機関：八王子市教育委員会
- 所在地：東京都八王子市館町1097-30
- 開校時期：平成16年4月
- H P：<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/kyoiku/003/003/004/index.html>

## 対象児童生徒

- 八王子市内在住(八王子市内に住所を有する)の小学校第4学年から中学校第3学年までの児童生徒
- 病気や経済的理由を除く年間30日以上欠席又は保健室や相談室、適応指導教室に通っており、現在もその状態が続いている者。

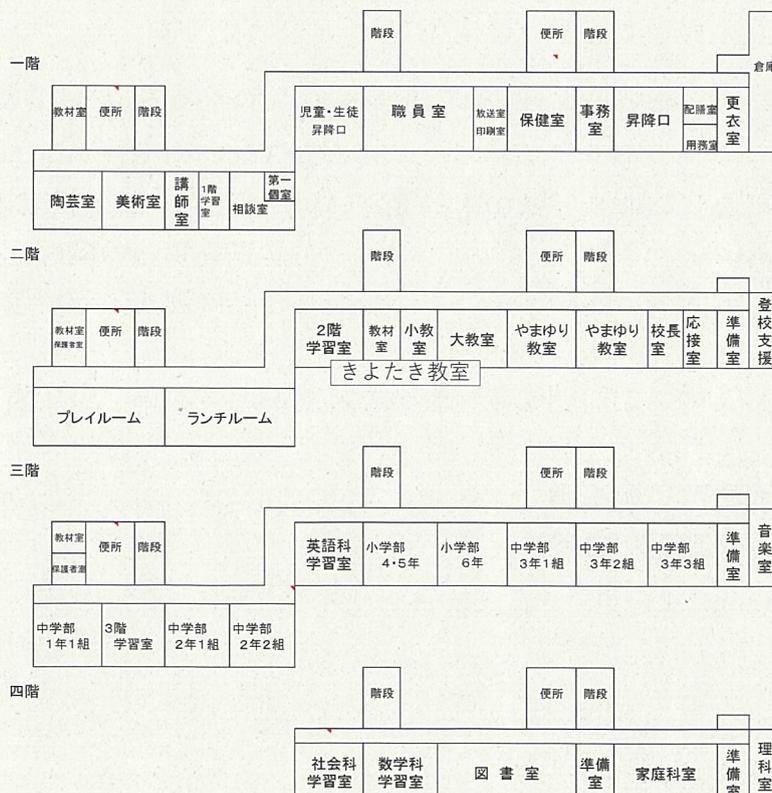
## 在籍児童生徒数 ※令和5年4月1日時点

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学生				1人	2人	1人	4人
中学生	12人	23人	28人				63人

## 教職員配置状況

職名	学年等	担当	職名	学年等	担当	職名	学年	担当
1 校長	小・中学部	経営	18 教諭	きよたき教室	情緒	35 専任教諭	中学部	数
2 副校長	小学部	経営	19 教諭	きよたき教室	情緒	36 指導補助員	小学部	
3 副校長	中学部	経営	20 教諭	きよたき教室	情緒	37 指導補助員	小学部	
4 主幹教諭	小学部	全科	21 養護教諭	小学部	養護	38 指導補助員	中1	
5 主幹教諭	きよたき教室	全科	22 養護教諭	中学部	養護	39 指導補助員	中1	
6 主幹教諭	中3	音	23 非常勤教諭	きよたき教室	情緒	40 指導補助員	中2	
7 主幹教諭	中3	英	24 事務	小・中学部		41 指導補助員	中2	
8 主幹教諭	中1	数	25 事務	小・中学部		42 指導補助員	中3	
9 教諭	小6	全科	26 SC	小学部		43 指導補助員	中3	
10 教諭	中2	英	27 SC	中学部		44 プレイルーム指導員	プレイルーム	
11 教諭	中2	保体	28 特別支援専門員	小学部		45 プレイルーム指導補助員	プレイルーム	
12 教諭	中3	美	29 特別支援専門員	中学部		46 プレイルーム指導補助員	プレイルーム	
13 教諭	中1	社	30 スクールサポートスタッフ	小学部		47 プレイルーム指導補助員	プレイルーム	
14 教諭	中3	理	31 スクールサポートスタッフ	中学部		48 図書館司書	小・中学部	
15 教諭	小4・5	全科	32 専任教諭	中学部	英	49 用務	小・中学部	
16 教諭	中1	家庭	33 専任教諭	中学部	国	50 用務	小・中学部	
17 教諭	中2	国	34 専任教諭	中学部	数			

## 教室配置図



## 校時表

	月・水曜日	火・木曜日	金曜日
朝読書		9:30 ~ 9:40	
朝の学活		9:40 ~ 9:50	
1時間目		9:55 ~ 10:40	
2時間目		10:50 ~ 11:35	
3時間目		11:45 ~ 12:30	
昼食	12:30 ~	13:00(食器片付け12:55から)	
昼休み		13:00 ~ 13:25	
高尾タイム		13:25~13:40	
終学活		13:40~13:45	
4時間目	13:25~14:10	講座学習 13:45~15:15	13:25~14:10
5時間目			14:20~15:05
高尾タイム	14:15~14:30		清掃・終学活
清掃・終学活	14:30~14:45		15:05~15:25
下校	16:00(会議のある日は14:30、クラブ活動の最終下校は17:00)		

プレイルーム  
心の安定を図るための居場所のひとつとして授業中も利用できる。



備考 ※校時表は、小・中学部共通 ※「高尾タイム」は、読む・書く・話す・聞く力を育むための言語活動の時間  
※会議のある日は、高尾タイム・清掃なしで14:30下校 ※「講座学習」については、「特別な教育課程の概要」を参照

## 特別な教育課程の概要

- 総時数750時間程度に行事等(70~85時間程度)を含めると、通常の教育課程に比べ約2割削減
- 全学年(小4~中3)の総合的な学習において、「講座学習」として教科にとられない個々の関心・意欲に応じた体験的な授業内容(スポーツ系・文化系・ものづくり系等)を週4時間設定。
- 「学園四季祭」として、社会体験・自然体験・生活体験を中心とした校外を含めた体験学習を年4回実施する他、地域交流学習や職業体験などを実施。
- 中学2・3年生の授業は、自分に合った授業スタイルを選択できるコース選択制
- 社会において人とのかかわる力の基礎を養うために、ソーシャルスキルトレーニングの手法を活用したSSP(ソーシャルスキルアップトレーニング)を実施。

## 教育課程表 ※灰文字は標準授業時数

区分	小4		小5		小6		中1		中2			中3			
									B	C	標準	B	C	標準	
各教科	国	165	245	130	175	130	175	65	140	65	100	140	65	100	105
	社	65	90	65	100	65	105	65	105	50	105	50	50	140	
	算・数	100	175	100	175	100	175	65	140	65	100	105	65	100	140
	生・理	65	105	65	105	65	105	65	105	50	140	50	50	140	
	音	30	60	30	50	30	50	65	45	65	30	35	65	30	35
	図・美	65	60	65	50	65	50	50	45	65	30	35	65	30	35
	体・保	65	105	65	90	65	90	65	105	65	105	65	65	105	
	家・技			35	60	35	55	50	70	65	30	70	65	30	35
	外・英			6	70	6	70	65	140	65	100	140	65	100	140
	外国語	6	35												
道徳	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
総合	120	70	120	70	120	70	120	50	120	70	120	70	120	70	
特活	38	35	38	35	38	35	38	35	38	35	35	35	35	35	
合計	754	1015	754	1015	754	1015	748	1015	748	1015	745	1015			

※中2・中3のBは、Basicコース、Cは、Challengeコース

## 中学部の時間割

7月19日 水曜	
B	C
1 理科	国語
2 音楽	体育
3 国語	理科
4 英語	英語

## 児童生徒の実態に配慮した工夫

- 児童生徒にとって通いやすい登下校時刻を設定している。
- 中2・中3は、個別学習のB(Basic)コースと一斉授業で学ぶC(Challenge)コースから、自分に合った学び方を選ぶことができるしくみを設定している。
- 授業に参加する気持ちが整っていない時には、教室以外の居場所である「プレイルーム」や「相談室」、「保健室」で、いつでも支援が受けられる体制を取っている。
- スクールソーシャルワーカーや心理相談員を配置した市教委所管の「登校支援室」を学内に設置し、連携した支援体制を取っている。
- 高尾山学園を目指す児童・生徒がはじめに通う場として、市教委が運営する適応指導教室「やまゆり」が学内に設置されており、高尾山学園へのゆるやかな転入学を支援している。
- 定員は設けず、やまゆりへの通級体験を通して転学への準備状態が整った者から毎月転入できるしくみとし、個々の児童生徒のペースで転入学が可能な体制を取っている。
- 発達特性から対人関係やコミュニケーションなどに困難を抱えている児童生徒が利用できる特別支援教室(きよたき)が設置されており、個々の特性に応じた指導を行っている。
- 小学部の家庭科・図画工作科・体育科の授業を中学部の教員が担当する他、小学部6年生は、学年末に中学部の教員による授業体験を受けるなどの取組を通して、中1ギャップの軽減をめざしている。

## 視察報告

	山形県上山市立西郷小・中学校（上山きらり学園）	東京都八王子市立高尾山学園
校舎等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃校舎利用（平成３年度建築）</li> <li>・ 学びの多様化学校として令和７年度開校</li> <li>・ 校歌、校章なし。</li> <li>・ 備品の整備は、教育基金を活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃校舎利用（昭和５０年度建築）</li> <li>・ 学びの多様化学校として平成１６年度開校</li> <li>・ 校歌、校章あり。</li> </ul>
特色ある教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的には子どもの意思を尊重する。否定しない。無理強いしない。</li> <li>・ 「きらりタイム」を新設し、学び直しの時間として週４時間実施している。</li> <li>・ 総合的な学習の時間を「夢チャレンジ」と位置づけて週３時間に拡充し、自分で設定したテーマについての探求的な学習を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的には子どもの意思を尊重するが、いくつかのルールがある。</li> <li>・ １５分で取り組む「高尾タイム」を週４回設置し、言語活動の充実を図っている。</li> <li>・ 総合的な学習の時間を「講座学習」と位置づけて週４時間に拡充し、興味・関心に応じた体験的な学習を進めている。</li> </ul>
教育支援センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育支援センター「すこやか教室」を校内に設置している。（市内唯一の教育支援センター）</li> <li>・ 「すこやか教室」は、通級する子どもの在籍校への復帰を目指すことを目的として設置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育支援センター「やまゆり教室」を校内に設置している。（この他、市内に２つの教育支援センターを設置）</li> <li>・ 「やまゆり教室」は、高尾山学園への転入の準備を進めることを目的とする特別な教育支援センターとして設置している。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上山市民であることが入学の条件となる。</li> <li>・ 評価については、校内で評価規準を作成している。通知表には所見のみ記載し、評定は内部資料としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外からの転入希望者については、他の八王子市立学校への転入を進める。</li> <li>・ 評価については、都の評価規準を基本とし、中２の後学期から通知表に評定を記載している。</li> </ul>
		

## ニーズ調査について

### 1 目的

- ・学びの多様化学校に対する期待と希望を把握する

### 2 対象

○不登校、不登校傾向にある児童生徒（小4以上）および保護者

- ・すくうる・みらい、スペース・イオに通級する児童生徒およびその保護者
- ・フレッシュフレンドの支援を受けている児童生徒およびその保護者
- ・校内教育支援センターを利用している児童生徒およびその保護者
- ・その他、学校が不登校、不登校傾向にあると判断する児童生徒およびその保護者

○学校関係者

- ・市立小・中学校に勤務する管理職および不登校対応コーディネーター担当教員、教育相談担当教員、生徒指導主事 等

### 3 実施時期

- ・令和7年11月

### 4 実施方法

- （案1）フォームズ
- （案2）調査用紙

### <参考>他都市の状況

- ・東北4自治体と全国6自治体への聞き取り（R7.5.23）
- ・ニーズ調査 あり2 なし8

例：宮崎県宮崎市 小学4年から中学3年までの児童生徒およびその保護者を対象に実施（設問は2問）

香川県三豊市 夜間学校の併設であることもあり、福祉関係者や国際関係企業を対象に実施

学びの多様化学校の設置に向けたニーズ調査について(案)

保護者用	児童生徒用	教育関係者用
<b>1 趣旨説明</b> 令和9年度に本市で設置を予定している「学びの多様化学校」について、特色ある教育づくりに生かすため、保護者の皆さまのご意見を伺います。 子ども一人ひとりが安心して学び、自分らしさを伸ばすことができる学校づくりの参考といたしますので、ご協力をお願いいたします。	<b>1 はじめに</b> 令和9年度に開校を予定している「学びの多様化学校」は、子ども一人ひとりが安心して学べる学校を目指しています。 みなさんの思いや考えを、ぜひ教えてください。答えに正しい・まちがいはありません。	<b>1 調査の目的</b> 本市では、令和9年度に「学びの多様化学校」を設置する予定です。 子ども一人ひとりの実態に応じた学びを保障するため、学校現場や関係機関の皆さまのご意見を伺い、特色ある教育づくりに生かしたいと考えております。
<b>2 基本情報</b> お子さまの学年を教えてください。 <input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年  <input type="checkbox"/> 中学校  お子さまの現在の状況を教えてください。 <input type="checkbox"/> 通常登校 <input type="checkbox"/> 不登校傾向 <input type="checkbox"/> 不登校 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>2 あなたについて</b> 学年をおしえてください。 <input type="checkbox"/> 小学3年 <input type="checkbox"/> 小学4年 <input type="checkbox"/> 小学5年 <input type="checkbox"/> 小学6年 <input type="checkbox"/> 中学1年 <input type="checkbox"/> 中学2年 <input type="checkbox"/> 中学3年  学校にはどのくらいかよっていますか。 <input type="checkbox"/> ほとんど毎日行っている <input type="checkbox"/> とときき休むことがある <input type="checkbox"/> あまり行けていない <input type="checkbox"/> ほとんど行っていない	<b>2 基本情報</b> ご所属について <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 教育支援センター <input type="checkbox"/> NPO/地域団体 <input type="checkbox"/> その他( )  職務・立場について <input type="checkbox"/> 校長 <input type="checkbox"/> 教頭 <input type="checkbox"/> 担任 <input type="checkbox"/> 養護教諭 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラー <input type="checkbox"/> 支援員 <input type="checkbox"/> その他( )
		<b>3 不登校・学びに関する現状認識</b> 在籍校・団体での不登校や登校しぶりの児童生徒の状況について、どのように感じていますか。 (自由記述 )  現在の学校体制で対応が難しいと感じる点はどこですか。 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 少人数・個別対応の不足 <input type="checkbox"/> 教職員の人員不足 <input type="checkbox"/> ICT活用の不足 <input type="checkbox"/> 保護者支援の不足 <input type="checkbox"/> 専門職との連携不足 <input type="checkbox"/> その他( )
<b>3 学びに関するニーズについて</b> お子さまに合う学び方について、あてはまるものを選んでください(複数回答可) <input type="checkbox"/> 少人数での学習 <input type="checkbox"/> 個別の学習支援 <input type="checkbox"/> ICTを活用した学習 <input type="checkbox"/> ゆっくりしたペースでの学び <input type="checkbox"/> 興味・関心を重視した探究的な学び <input type="checkbox"/> その他( ) 学校に期待する学びの工夫があればご記入ください。 (自由記述 )	<b>3 「学びの多様化学校」について</b> あなたが「勉強しやすい」と思うのはどんなやり方ですか。(いくつでも) <input type="checkbox"/> 少ない人数で <input type="checkbox"/> 一人ひとりに合わせてもらう <input type="checkbox"/> パソコンやタブレットを使う <input type="checkbox"/> 自分のペースでゆっくり <input type="checkbox"/> 興味のあることを調べる <input type="checkbox"/> その他( ) 学校で「こういう勉強ができればいいな」と思うことがあれば書いてください。 (自由記述 )	<b>4 学びの多様化学校への期待</b> 学びの多様化学校に必要と考える教育の特色はどれですか。(複数回答可) <input type="checkbox"/> 少人数学級・個別最適化学習 <input type="checkbox"/> 柔軟な教育課程(教科選択、学習ペースの調整) <input type="checkbox"/> 体験・探究的な学習 <input type="checkbox"/> ICTやオンラインを活用した学習 <input type="checkbox"/> 地域との協働(ボランティア・職場体験等) <input type="checkbox"/> その他( )
<b>4 学校生活・支援に関するニーズ</b> 学校生活で不安に感じることを教えてください(複数回答可) <input type="checkbox"/> 登校への不安 <input type="checkbox"/> 友人関係 <input type="checkbox"/> 学習の遅れ <input type="checkbox"/> 生活リズム <input type="checkbox"/> 健康面 <input type="checkbox"/> その他( )  学校に配置してほしい専門スタッフはどれですか(複数回答可) <input type="checkbox"/> 学習支援員 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラー・心理師 <input type="checkbox"/> 医療・福祉関係者 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>4 学校生活について</b> 学校生活で心配なことや気になることはなんですか。(いくつでも) <input type="checkbox"/> 友だちのこと <input type="checkbox"/> 先生とのこと <input type="checkbox"/> 勉強のこと <input type="checkbox"/> 生活のリズム(ねる・おきる) <input type="checkbox"/> 健康や体のこと <input type="checkbox"/> その他( )  学校に「こんな先生やスタッフがいたら安心だ」と思う人はだれですか。(いくつでも) <input type="checkbox"/> 勉強を助けてくれる人 <input type="checkbox"/> 話を聞いてくれる人(カウンセラーなど) <input type="checkbox"/> 健康や体のことを見てくれる人 <input type="checkbox"/> その他( )	学校生活面で重視すべきことは何だと思いますか。 <input type="checkbox"/> 安心できる居場所づくり <input type="checkbox"/> カウンセリング・心理支援の充実 <input type="checkbox"/> 保健・医療との連携 <input type="checkbox"/> 保護者相談支援 <input type="checkbox"/> その他( )
<b>5 学校の特色に関する希望</b> 重視してほしい活動を選んでください(複数回答可) <input type="checkbox"/> 体験学習 <input type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> 芸術・文化活動 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> その他( )  学校にあったらよいと思う施設・取組をご記入ください。 (自由記述 )	<b>5 学校の特色に関する希望</b> あなたが「やってみたい」と思う活動はなんですか。(いくつでも) <input type="checkbox"/> 体験学習(ものづくり、農業、地域の体験など) <input type="checkbox"/> 芸術や文化(音楽、図工・美術、演劇など) <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 地域の人とかかわる活動 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>5 支援体制・人材に関するご意見</b> 学びの多様化学校に必要と考える専門スタッフはどれですか。(複数回答可) <input type="checkbox"/> 学習支援員 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラー・心理士 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー <input type="checkbox"/> 医療・福祉関係者 <input type="checkbox"/> その他( )  既存の学校や関係機関との連携の在り方について、ご意見をお聞かせください。 (自由記述 )
<b>6 進路や将来像について</b> 中学校卒業後に希望する進路について、関心のあるものをお選びください(複数回答可) <input type="checkbox"/> 高等学校(全日制) <input type="checkbox"/> 高等学校(通信制・単位制) <input type="checkbox"/> 専修学校 <input type="checkbox"/> 就労準備 <input type="checkbox"/> その他( ) 将来に向けて学校に期待することがあればお聞かせください。 (自由記述 )	<b>6 進路や将来像について</b> 将来やってみたいことや、かなえたい夢があれば書いてください。 (自由記述 )	
<b>7 その他</b> 「学びの多様化学校」に対してご意見・ご要望があれば自由に書きください。 (自由記述 )	<b>7 その他</b> 学校に「こうしてほしい」と思うことがあれば書いてください。 (自由記述 )	<b>6 その他</b> 「学びの多様化学校」に期待すること、懸念することなど、自由に記入ください。 (自由記述 )

学校		土崎小学校	太平小学校	下北手小学校	戸島小学校
校舎 校地の 状況	校舎				
	校舎建築年度	S 4 3	S 5 0	S 5 6	S 5 4
	経過年数	57年経過 (目標80年)	50年経過 (目標60年)	44年経過 (目標60年)	46年経過 (目標80年)
	開校に係る施設改修費	406,860千円	52,676千円	23,192千円	31,450千円
	秋田駅からの距離	9.7km	7.5km	3.7km	13.0km
	水害リスク	津波被害警戒区域	浸水想定区域	土砂災害警戒区域 (校舎一部)	浸水想定区域
校舎の 基本情報	校舎面積	4,455 m <sup>2</sup>	2,097 m <sup>2</sup>	3,563 m <sup>2</sup>	2,940 m <sup>2</sup>
	屋内運動場面積	957 m <sup>2</sup>	518 m <sup>2</sup>	780 m <sup>2</sup>	876 m <sup>2</sup>
	校地面積 (校舎)	7,523 m <sup>2</sup>	9,969 m <sup>2</sup>	9,250 m <sup>2</sup>	12,218 m <sup>2</sup>
	校地面積 (運動場)	4,209 m <sup>2</sup>	6,493 m <sup>2</sup>	11,100 m <sup>2</sup>	14,172 m <sup>2</sup>
	駐車可能台数	27台	20台	20台	30台
	指定避難所	琴平第二街区公園 (12m)	太平小学校	下北手小学校	戸島小学校
利用可能 な教室等	普通教室	15	6	11	8
	特別教室	理、音、美、家、 <del>技</del> 、図	理、音、美、家、 <del>技</del> 、図	理、音、美、家、 <del>技</del> 、図	理、音、美、家、 <del>技</del> 、図
	多目的ホール	2	0	3	1
	その他	5	1	4	6
地域の特 徴を生か した教育 活動の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業体験 (米づくり)</li> <li>○伝統行事への参加体験</li> <li>○自然体験学習</li> <li>○植物栽培</li> <li>○地元食材調理体験</li> <li>○地域人材交流</li> <li>○伝統工芸品づくり</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">   </div>				

# 秋田市学びの多様化学校 開校までのロードマップ

R 7	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校コンセプト</li> <li>・教育課程作成</li> <li>・設置検討委員会</li> <li>・ニーズ調査</li> <li>・視察</li> <li>・プレスリリース</li> <li>・文部科学省に申請</li> </ul>	—————					視察(上山市・八王子市)	第1回設置検討委員会	ニーズ調査実施	ニーズ調査まとめ	第2回設置検討委員会	プレスリリース	教育課程完成	文部科学省に開設申請	
														
R 8	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R9.4月	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置準備委員会</li> <li>・視察</li> <li>・県教委に申請</li> <li>・保護者説明会</li> <li>・プレオープンスクール</li> <li>・転入学説明会</li> <li>・転入学受付</li> <li>・新年度準備</li> </ul>	—————	第1回設置準備委員会	視察(鎌倉市・さいたま市)	校長会で説明	県教育委員会に学校設置届提出	—————	第2回設置準備委員会	保護者説明会	プレオープンスクール	転入学説明会	転入学受付開始	—————	教職員研修会	<b>開校</b> 

## 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域ブロック協議会において、学校統合の方向性（学校の組合せ）が決定した地域については、学校統合検討委員会で統合の可否を検討している。

また、検討委員会において、学校統合の合意が得られたところについては、学校統合準備委員会で、統合の実施に向けた具体的な準備作業を行っている。

### 1 学校統合検討委員会の開催状況等

#### (1) 第7回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会【9月26日(金)開催】

##### ア 主な意見等

- ・土崎中PTAでは、統合はまだ先であると考えており、今後も生徒数の推移を見ていきたい。
- ・将軍野中PTAでは、2校の生徒数の推計に大きな変化はなく、適正規模となるのは令和17年度の見込みであるため、引き続き、生徒数の推移を見守る必要があると考えている。
- ・土崎小と土崎南小の統合により、土崎中と将軍野中への進学状況がこれまでと大きく変わる可能性があると考えており、子どもたちの動向を注視していきたい。

##### イ 今回の委員会での確認事項

- ・本検討委員会は、引き続き、生徒数の推移や土崎小と土崎南小の統合後の状況を見ながら、必要に応じて、年1回程度の検討を継続する。
- ・ただし、生徒数の減少が急激に進むなど、状況に変化があった場合は、状況に応じて検討委員会を開催するなどの対応を行っていく。

### 2 学校統合準備委員会の開催状況等

#### (1) 第6回河辺小、戸島小学校統合準備委員会【10月15日(水)開催】

(令和8年度統合予定)

##### ア 今回の委員会での確認事項

- ・閉校記念事業の実施については、実行委員会が主体となり、学校および教育委員会と連携しながら、準備を進める。
- ・統合に伴う体育着等の指定物品については、体育着等の具体的な支給方法等を確認し、引き続き、支給に向けて調整する。
- ・スクールバスの運行については、対象児童の保護者へ説明し、意見や要望を踏まえ、乗降場所や時間などを確定する。

(2) 第4回築山小、中通小学校統合準備委員会【10月22日(水)開催】

(令和12年度統合予定)

ア 今回の委員会での確認事項

- ・2校の児童や保護者、地域住民等への公募結果を踏まえ、準備委員会において統合後の校名候補を決定した。
- ・今後、準備委員会が決定した校名候補をもとに、教育委員会内の選定委員会を開催するなど必要な手続きを進める。

3 今後のスケジュール

(1) 地域ブロック協議会

開催日	地域ブロック協議会	地域
11月12日(水)	第9回河辺地域ブロック協議会	河辺
12月以降	第7回南部地域ブロック協議会	南部

(2) 学校統合検討委員会

開催日	学校統合検討委員会	地域
11月7日(金)	第9回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会	西部
11月14日(金)	第7回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会	北部
12月以降	第4回八橋小、寺内小学校統合検討委員会	中央

(3) 学校統合準備委員会

開催日	学校統合準備委員会	地域
12月以降	第5回築山小、中通小学校統合準備委員会	中央
	第5回飯島小、下新城小学校統合準備委員会	北部
	第11回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会	
	第7回河辺小、戸島小学校統合準備委員会	河辺

※(1)～(3)の地域協議については、進捗状況により、順次、開催する。

(4) 記念式典

開催日	名称	会場
令和7年11月1日(土)	秋田市立戸島小学校閉校記念式典	戸島小体育館
令和8年2月21日(土)	秋田市立土崎小学校、土崎南小学校統合記念式典	あきた芸術劇場 ミルハス